

QST病院で子宮頸癌に対し重粒子線治療を受けた皆様へ

(臨床研究に関する情報)

QST病院では、子宮頸癌に対し重粒子線治療を受けた方の経過や副作用を明らかにするために、過去の症例を解析することになりました。この研究は、診療録（カルテ）から得られた記録をまとめることによって行います。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[研究課題名] 子宮頸癌に対する傍大動脈リンパ節領域を含めた重粒子線治療に関する後向き観察研究と線量分布の検討

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 QST病院

[研究期間] 許可日～2022年3月31日

[協力/共同研究機関] なし

[研究責任者] 村田 裕人

[研究の目的] QST病院における、子宮頸癌に対する傍大動脈リンパ節を含めた重粒子線治療を受けた患者さんの治療成績と有害事象を明らかにします。また、実際に行った照射方法であるブロードビーム法による線量分布と、コンピュータ内で同じデータをスキャンング照射法による線量分布として計算しなおしたものを比較検討し、スキャンング法によって消化管などのリスク臓器への線量を減らすことができるかどうかを検討します。

[研究の方法]

●対象となる方々

2006年5月から2013年1月の間にQST病院で子宮頸癌に対し傍大動脈リンパ節を含めた重粒子線治療を受けた患者さん。

●利用する情報及び利用方法

2020年1月31日までに得られた治療内容、診療録（カルテ）に記録されている治療前後の経過を利用します。

新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い] **お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。**

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることはありません。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2020年5月31日までに下

記窓口にお申し出くださるようお願い致します。この期間を過ぎた後にお申し出いただいた場合でも、可能な限りデータを解析から取り除きますが、既に集計し解析に用いられ個人を識別できない状態の情報は取り除けない場合があります。そのような場合であっても、患者さんの個人情報公表されることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 QST病院

治療診断部 村田 裕人 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

